

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 岐阜県

### （地域における現状・課題）

生徒数減少、教員数減少により、既存の部活動数、複数顧問体制を維持することが困難な状況である。そのような現状の中、多様な生徒のニーズに応えるため、合同部活動で活動を継続している学校が多く見受けられるようになった。今後はさらに、中学校と地域が協働することで中学生のスポーツ活動の場を確保し、生徒にとって望ましい持続可能な活動にしていく必要があると考える。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

県内には、総合型地域スポーツクラブが存在しない地域も多く、運営主体の確保、指導者の確保・育成、指導者への謝金、受益者負担に関する保護者への説明等、解決しなくてはならない課題が山積している状況である。令和4年度も、羽島市、安八町、下呂市での実践研究を継続し、運営主体として各教育委員会が中心となる形態での取組を行う。その成果と課題を広く県内の他の市町村に対して情報提供する。

### （実践研究の成果）

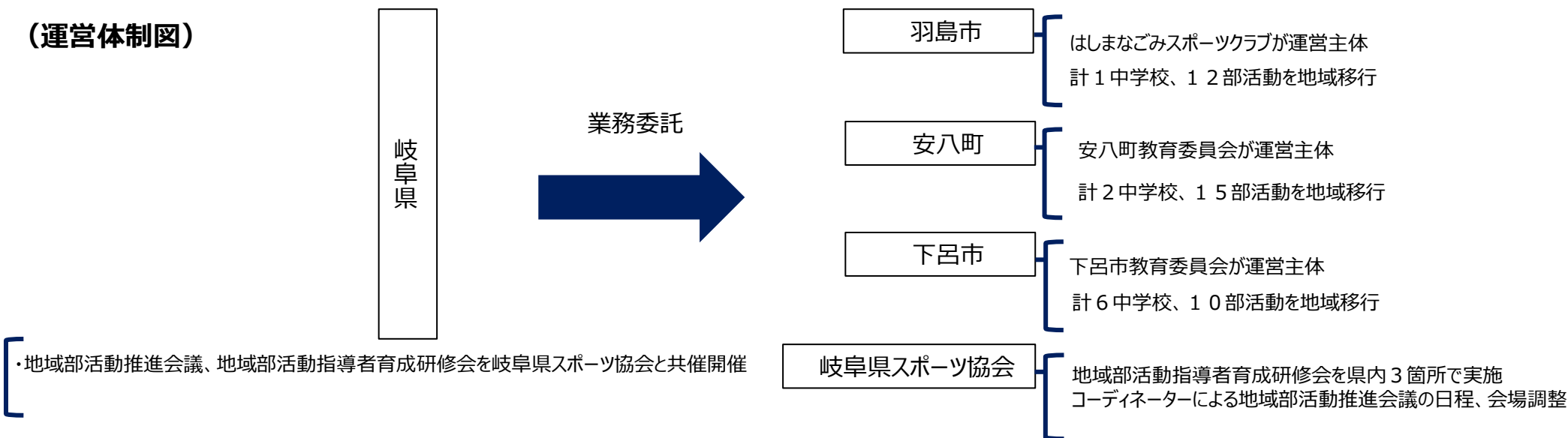
＜羽島市＞ 実践に基づき、地域移行により必要な経費の見通しが明らかとなり、保護者負担額の見直しや市内他スポーツクラブによる地域移行を推進することができた。

＜安八町＞ 町のスポーツ団体に対し、指導者派遣を依頼することで、地域指導者の掘り起こしをすることができた。

＜下呂市＞ 外部指導者を教育委員会として、28名配置できたことにより、中学校教員の時間外勤務の平均時間が、昨年度比で平均6時間39分削減できた。

＜岐阜県スポーツ協会＞ 地域部活動推進会議を開催したことにより、各地区での実践における成果と課題を共有し、今後の地域移行への見通しを示すことができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 下呂市

### （地域における現状・課題）

下呂市全体の課題として、生徒数減少、それに伴う教員数減少により、生徒にとっては専門的な指導が受けられなかったり、入りたい部活動に入れなかったりする。また、教員にとっては、複数顧問制をとることができないため、勤務時間超過の要因となっている。課題は地域移行に関わって、受け皿として考えられる総合型地域スポーツクラブがすべての地域にないため、市全体としての移行が進めにくい。地域移行に関する関係団体との話し合いを進めているが、今後のよりよい方向が決め切れていない。種目によっては、指導者の確保・養成、予算確保の難しい。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：下呂市教育委員会

活動場所：下呂市立萩原南中学校、下呂市立下呂中学校他

指導者：下呂市部活動指導員・地域外部指導者

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、公共交通機関、民間バスなど

責任主体：下呂市教育委員会

活動種目：バスケットボール、バレーボール、剣道、軟式野球、陸上競技

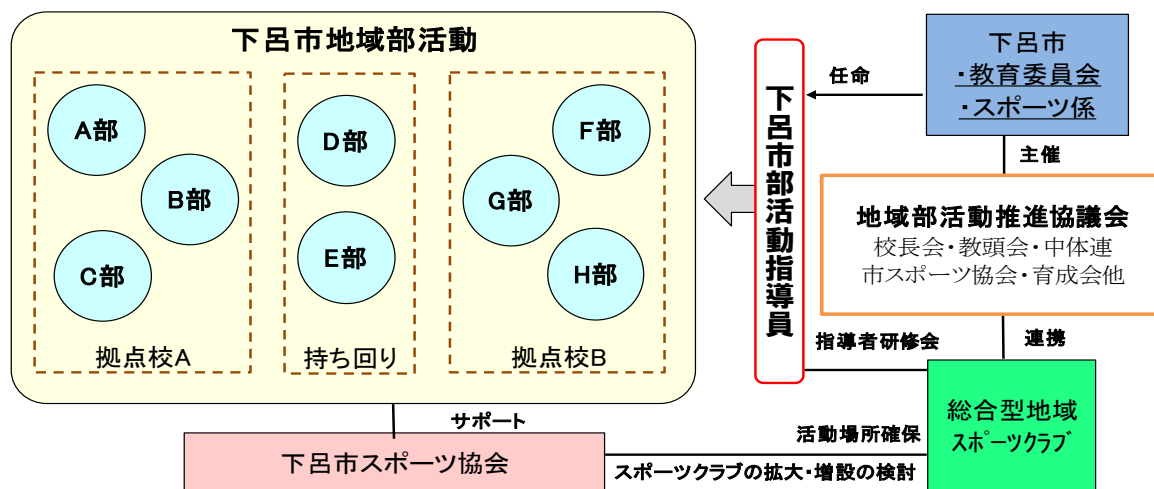
会費等：年間 約25,000円

保険：日本スポーツ振興センターの災害共済

### （実践研究の成果）

- ・全6校中2校を主な拠点とした合同部活動の推進により、専門的な指導や、生徒がやりたい部活動に参加することができた。また、教師の負担を軽減する環境ができた。
- ・外部指導員を市教委として28名配置できたことにより、中学校教員の時間外勤務の平均時間が、昨年度比で（R3→R4）平均6時間39分削減できた。
- ・拠点校への生徒の移動環境改善→スクールバスの運行（上下便2本）、公共交通機関運賃の補助、民間路線バスのダイヤ変更及び運賃補助ができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 羽島市

### （地域における現状・課題）

- ・羽島市では、近年、少子化に伴う生徒数の減少などにより、部活動加入者が減少しているため、部活動の種目数を減らざるを得ない状況である。中学生年代のスポーツの選択肢や機会を、今後も確保・維持していくことが課題である。
- ・種目の経験がない教員が顧問となることも多く、専門性の高い人材から指導を受けられるスポーツ環境の構築が求められている。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：はしまなごみスポーツクラブ

活動場所：竹鼻中学校、長良川多目的運動場、FUKUJUスポーツパーク

指導者：はしまなごみスポーツクラブ指導者（社会人・兼職兼業教員・大学生）

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎（遠方での試合出場等）

責任主体：はしまなごみスポーツクラブ

活動種目：軟式野球、サッカー、陸上、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、剣道、柔道

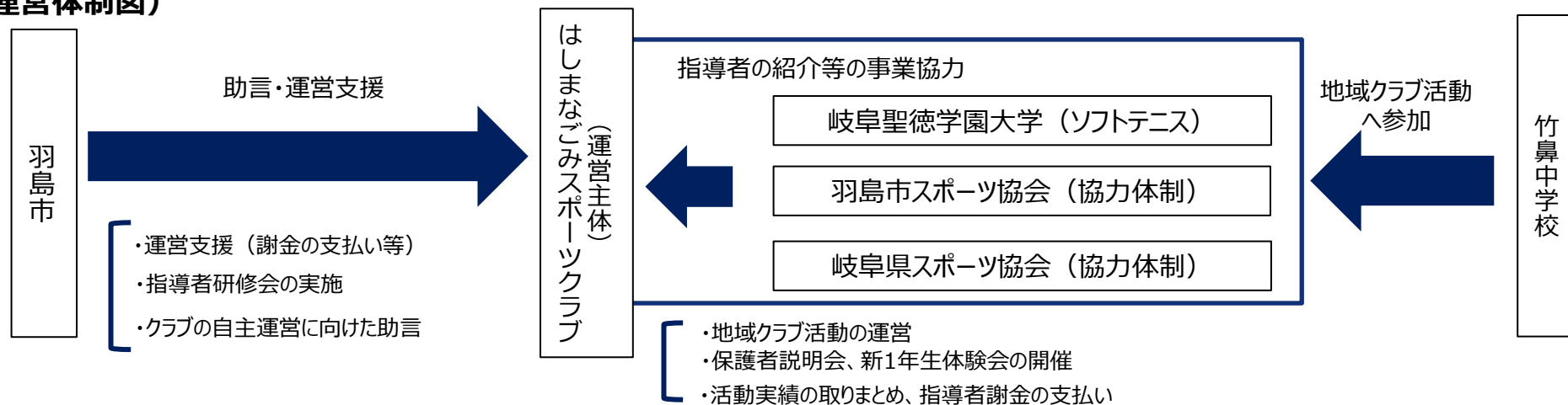
会費等：6,000円/年（年会費2,000円、参加料1,000円/3か月）

保険：800円/年（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

- ・拠点校（竹鼻中学校）の運動部活動（全12部活動）について、クラブ活動として行うことができた。
- ・部活動顧問の時間外勤務については、地域移行前と比較し、13.3時間の削減ができています。
- ・実践に基づき、地域移行により必要な経費の見通しが明らかとなり、保護者負担額の見直しや市内他スポーツクラブによる地域移行を推進することができた。
- ・拠点校以外の4校でも地域移行に向けた協議を進め、3校が令和5年4月より地域移行を行う見通しとなり、羽島市の地域移行を推進することができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 安八町

### （地域における現状・課題）

- ・安八町として、専門性の高い技術指導が可能な地域指導者の確保が大きな課題である。
- ・全員部活動参加でなくなったため、部員数が減少しており、生徒のニーズに対応した練習形態や活動場所の確保が困難となっている。
- ・保護者にとって、地域移行により、受益者負担金の増加することが大きな不安となっている。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：安八町教育委員会

活動場所：安八町立登龍中学校 体育館

指導者：地域指導者（外部指導者・教員）

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：安八町教育委員会

活動種目：バスケットボール、バレーボール、野球、ソフトテニス、卓球、サッカー、剣道

会費等：部活動により様々

### （実践研究の成果）

- ・外部指導者を地域指導者として委嘱し、休日の部活動の指導を実施したことにより、教員の負担を軽減することができた。
- ・町のスポーツ団体に対し、指導者派遣を依頼することで、地域指導者の掘り起こしをすることができた。
- ・地域指導者による専門的な指導により、生徒の技術が向上した。

### （運営体制図）

